

古今業雅抄

二三

和書門			
二七三四八	一〇七	九	一六
號	函	架	册
類			

內閣文庫			
二七三四八	一〇七	九	一六
號	函	架	册
類			

內閣文庫			
番號	和 27348		
冊數	16	(	4)
函號	200		54





古今和歌集卷第二

巻二下

新羅

よみ人あはれ

新羅のうらみはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに

あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに  
あはれなるはしるしに

明治十二年購求

国立公文書館



てを申して志がう一也  
きかひはちとせ  
山崎のちとせとせ

のさうらるちとせをめてそは梯むありて世中をこけうまれの  
雅も世中一はありていさかたをうまうとくねむ花のあり  
なくちとせをめてそは梯むありて世中をこけうまれの  
む人れありていさかたをうまうとくねむ花のあり

あらして  
新右衛門

は世にそしひのおおし一梯むちりけまうひよあはれとて  
とれ乃ちちかひとていさかたをうまうとくねむ花のあり  
雅も世中一はありていさかたをうまうとくねむ花のあり

たう

うはせの世よもむくまの梯さくことからまふうとて  
空蟬乃ちちる紀をふゆるとれ梯ありてうまくとて  
とてうまくとていさかたをうまうとくねむ花のあり  
が梯さくこととていさかたをうまうとくねむ花のあり  
空蟬の紀くこととていさかたをうまうとくねむ花のあり  
はまのちとせをめてそは梯むありて世中をこけうまれの  
は世貝とていさかたをうまうとくねむ花のあり

格  
浅緑

浅緑の世よもむくまの梯さくことからまふうとて  
惟言い又世中一はありていさかたをうまうとくねむ花のあり

あれをうまうとて



さしむちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは  
揚もあちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは  
もむる事りともむる迷懐乃(古今抄)あは

言林院より梯乃花のちりまるとかんであり  
作者承均せうくもねどもかあり紀たねむおくま  
君もか梯より

そりく法師 承均

さしむちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは  
梯もあちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは  
もむる事りともむる迷懐乃(古今抄)あは  
言林院より梯乃花のちりまるとかんであり  
作者承均せうくもねどもかあり紀たねむおくま  
君もか梯より

さしむちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは

そりく法師

花ちりいそむ人(古今抄)あは  
揚もあちりもちりあちりいそむ人(古今抄)あは  
もむる事りともむる迷懐乃(古今抄)あは  
言林院より梯乃花のちりまるとかんであり  
作者承均せうくもねどもかあり紀たねむおくま  
君もか梯より

言林院より梯乃花のちりまるとかんであり  
作者承均せうくもねどもかあり紀たねむおくま  
君もか梯より

あひはる人のまうてきてゆりふくう後承均



むよけしとほりりたる

しつとせし

ひよかろしきもやうと標むくふき約かてちうちんは  
花さうとみくぬる人のたまはらむかきしひき約  
てはさうちんちんちんちんちん

ひよかろしきもやうと

まおるにうくはんさくちんちんちんちんちんちん  
これらるるりのおしんちんちんちんちんちんちん  
とくわんあやうちんちんちんちんちんちんちん

乃ん物とせ

ちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
とくわんあやうちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん

教系よりか乃物長

典侍國香

大教寛平延長女も  
一系一つれと物長と書

それあてまのゆきもきくぬる待一標もうろひふたり

おろしきもやうと標もやうと標もやうと標もやうと

ぶてまうはらひひもやうと標もやうと標もやうと

さうらなと思ふよふりしきと書おろしきと

東宮雅院よりとさくちんちんちんちんちんちんちん

あられまの紙んてふあ

東宮雅院とい待賢門乃内中御門の水主望の東宮

津深水とわく標の中よかきしんちんちんちんちんちん

らびもてあり水とらびくちんちんちんちんちん











ひえにのちりておるり海うてきてしあ

津くねま

山さかたつて我くさくさくも風のあつりよまうにるや也  
海くさかたつてあまをよとて風のあつりよまうあ  
どゆあおひるりてりふよよ海うあつてちうさくさ  
やまのり

野うす

一本

大伴くろね

陸奥所

まゐらもつはるみうもくもくもくもくおしあわん  
人いふもつちうさだしく思もねまらけおさきぬ  
ゆういふもつちうさだしく思もねまらけおさきぬ  
まう子院袂合のうい

はくねま

いふもつちうさだしく思もねまらけおさきぬ  
まう子院袂合のうい

奈は乃浄門の法

平城天皇大同天子

右字なりあさくれおしよさくさくさくさくさくさく  
あかさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
ま乃うさくさくさく

うらみひのむね

花入るにち照ふあつてさくさくさくさくさくさく  
あやあさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
いふあつちうさくさくさくさくさくさくさくさく



まどつらくみえはとももくさふく人のあはれ  
あはれなまは

寛平の神代はけいふの歌合はら

うたひ法師

花乃もも今ちかりうへままはうつらふきふ人きういかり  
とらふもちて極もたうはらふ多ふ人のきうひて同  
みえひむはかりうたふと花をうらむしうて  
むのまはらうらり

春

みじく

まはらうらりうらねさあはじまらほらうたはらふん  
けらあひらふらわらまにあらまうたはらうらら花  
乃んわらと花をうたはら

春乃うらり

はら

らうらりもがらうららまら人よまらうら花やうら  
らうららうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
さねくあうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
さうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

うら

らうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうら











花乃  
花乃  
花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

其侍治子物

宮人平定長直持  
典侍系不別苗

花乃

花乃

花乃

花乃

花乃

藤原のち

後藤氏の中  
中納言

花乃

花乃

花乃







は 若さうをぬきひらふにあらひしよきしりふもよき身せ  
しあはれなる隙なく打さるるもあはれはわかれ  
なるれもぬきうらひあると申下りさうりしりふもよ  
き身せよ人とうらふと申さうらふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身

仁和乃中將のまやまんおの家よ結合せんとし  
りしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身

可しあはれなるもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身

はらりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身

あつちあつちとせしと誠くねしをまらあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身

實えまの神討たれらるるの辛合らるる

の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる  
の神討たれらるるの辛合らるるの神討たれらるるの辛合らるる

あつちあつちとせしと誠くねしをまらあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身  
せりしりふもよき身せりしりふもあはれなるもよき身







題一 くらあ

今もよき花もあらん梅乃あまの誇乃やまの誇乃花  
 ひよよまもあらん梅乃あまの誇乃やまの誇乃花  
 ち花乃花さ花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 宇治河はあまのや。感抄云。山吹ハ礫礫也。款冬と山吹  
 とのよき花あり。女若ふ。款冬ハ落也。胡麻。款冬ハ根  
 昔風と。清信云。礫礫と梅よりあまの

梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 雨小をこもあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 乃花と也。梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 山吹ハあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 山吹さうひさしくあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花

あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 ちうひさしくあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花

昔風河乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花

う乃河乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 ちのあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 うやまのあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 題一 くらあ

梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 けああまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花  
 かあまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花

梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花よりあらん梅乃あまの誇乃花











物はよ 形水とてさうらうのしらべも ちかきとてしるべし  
ことばはさうらう

庭よりしるはさうらうの白面のありあけさうらふ者も  
おとく人よはさうらう

ちかきしらべの物

おねころちかきとておつらさの因ふまゝにさうらふも  
海生のさうらうさうらふもさうらふもさうらふもさうらふも  
あけさうらふもさうらふもさうらふもさうらふもさうらふも  
はさうらふもさうらふもさうらふもさうらふもさうらふも  
さうらふもさうらふもさうらふもさうらふもさうらふも  
おねころちかきとてさうらうの例の詞をよもさうらふ  
さうらふもさうらふもさうらふもさうらふもさうらふも

さかきとてありまを  
さうらう後乃秋合のさうら

さうら

さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて  
さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて  
さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて  
さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて  
さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて  
さうらとてさうらとてさうらとてさうらとてさうらとて











新仁天白皇九十の由田道間守成帝世の御  
て北河原とあるおは持をりてあてさるる  
とてあまのいさちかひりやてりふ成天皇はとてか  
かありの回ちが神よつかにくはてしなれど  
人の神のまことしつるいふまじきま  
まもいもゆりかんたかり

いほのまふも月をわらん藤原の山部  
あめうはるもあがえんはつるふ  
おとちりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも  
けいよひりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも

藤原の山部  
まはまのたけし藤原の時もとも  
けいよひりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも  
おとちりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも

藤原の山部  
まはまのたけし藤原の時もとも  
けいよひりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも  
おとちりてりとのまふも月をわらん  
まはまのたけし藤原の時もとも















いさし福と人百のおひるぞう入てりるなり。おひる

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*

紀行吟

おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*  
おひるのうらみ *Omori no urami* 大江千里 *Oguni Chikami*







郭公人まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
人まうじよは言をれきくはまうじの申しをうにあまを  
なすてまうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
松山を渡はるりふかやまのすまふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな

まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな

まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな

まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな

みはひ

郭公我ちの言をわし我うちけきふまきまきりな  
郭公我ちの言をわし我うちけきふまきまきりな  
郭公我ちの言をわし我うちけきふまきまきりな  
郭公我ちの言をわし我うちけきふまきまきりな

借正遍照

まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな  
まうじの言をわし我うちけきふまきまきりな







